

## 集落環境点検（甲南町稗谷）の実施

平成 25 年 9 月 29 日の午後、本年度初めての獣害対策集落環境点検を「甲南町稗谷」で行いました。当集落は甲賀市甲南町の北端に位置する山あいの集落で、水稻の他、特産物の「日野菜」栽培にも取り組んでおられます。

当日は、集落員（16 名）と甲賀地域獣害対策協議会（甲賀市、森林整備事務所、田園振興課および当課 12 名）計 28 名が 3 班に分かれ、集落の状況を確認しました。

現地ではほ場の被害状況、野生獣の侵入経路、防護柵の状況、野生獣の誘引物の有無などに重点をおいて点検しました。

点検の結果、①集落各地でサル、イノシシの深刻な被害が出ていること、②集落東側の山にイノシシの侵入ルートが多数あること、③サルは甲賀町境と水口町境の 2 つのルートから主に侵入していること、④防護柵の損傷が激しく、ほ場の一部しか囲えていないところが多く、十分な効果が上がっていないこと、⑤タヌキやハクビシンの痕跡が見られ今後の被害拡大が懸念されること、など多くの課題が見つかりました。

今回の点検結果をもとに、イノシシに対しては補助事業の活用を視野に入れたより広域的な柵の設置、サルに対しては、効果的な追い払いによる侵入ルートの遮断を検討していくなど、獣害対策に対する意欲の高揚につながる点検となりました。

当課としては、点検結果をとりまとめ、報告会を開催し、関係機関と一体となって、当集落の被害防止計画の作成に向けた支援を継続して行います。



防護柵の倒壊箇所を確認



各班から点検結果の報告